

平成 22 年 国 勢 調 査

第 1 次 試 験 調 査 結 果 の 概 要

- 中間報告 -

この中間報告は、第 2 次試験調査の企画の参考に資するため、取り急ぎ一部の基本的な事項についてのみ集計・分析を行ったものである。第 1 次試験調査の結果については、今後、さらに詳細な集計・分析を行うこととしている。

目 次

調査の概要	1
調査票の概数集計結果	5
記録表の取りまとめ概要結果	9
世帯アンケートの概数集計結果	16

「記録表の取りまとめ概要結果」は、調査状況等記録表及び調査員記録表に基づいたものであり、「調査票の概数集計結果」と一致しない場合がある。

調査の概要

1 調査の目的

平成22年国勢調査第1次試験調査は、調査方法、調査事務及びこれに関連する事項について、実地の検討を行い、国勢調査の実実施計画の立案に必要な基礎資料を得ることを目的として実施

2 調査の地域

市区町

福島県福島市、福島県白河市、東京都大田区、東京都板橋区、愛知県岡崎市、愛知県刈谷市、京都府京都市、京都府長岡京市、山口県宇部市、山口県平生町、愛媛県松山市、愛媛県砥部町、福岡県久留米市及び福岡県前原市の14市区町

調査区

上記市区町の区域に属する平成17年国勢調査調査区の中から、地域特性を考慮して選定した448調査区

3 調査の期日及び日程

調査の期日

平成19年7月6日(金)午前零時現在

調査の日程

【調査票配布期間延長型】

調査地域の確認

及び『調査についてのお願い』の配布 6月18日(月)～6月20日(水)

調査票の配布 6月21日(木)～7月5日(木)

【調査票配布期間従来型】

調査地域の確認

及び『調査についてのお願い』の配布 6月25日(月)～6月27日(水)

調査票の配布 6月28日(木)～7月5日(木)

調査期日

7月6日(金)

『調査票の提出はお済みですか』

(確認状)の配布 7月6日(金)～7月12日(木)

世帯からの申し出による調査票

の回収 7月6日(金)～7月12日(木)

調査書類の市区町への提出 7月6日(金)～7月12日(木)

調査票の郵送提出期限	7月12日(木)
------------	----------

調査票の回収状況の把握・管理	7月9日(月)～7月17日(火)
調査票未提出世帯の確認及び調査員に対する調査票未提出世帯の指示	7月13日(金)～7月17日(火)
調査票未提出世帯からの調査票の回収	7月18日(水)～7月29日(日)
世帯からの調査票の最終提出期限	7月31日(火)

4 調査の対象

調査の対象は、調査の期日において、調査の地域内に常住する者
ただし、外国政府の外交使節団又は領事機関の構成員及び外国軍隊の軍人・軍属並びにこれらの家族を除く

5 調査事項及び調査票

調査区ごとに、記入方法が異なる2種類のOCR(光学式文字読取)調査票(甲・乙)を用いて、次の事項を調査

ア 世帯員に関する事項(16項目)

(ア) 氏名	《調査票(甲)》
(イ) 男女の別	(シ) 所属の事業所の名称、事業の内容及び事業の種類
(ウ) 出生の年月	(ス) 仕事内容及び仕事の種類
(エ) 世帯主との続柄	《調査票(乙)》
(オ) 配偶の関係	(シ) 所属の事業所の事業の内容
(カ) 国籍	(ス) 仕事の内容
(キ) 現在の住居における居住期間	(セ) 従業上の地位
(ク) 5年前の住居の所在地	(ソ) 従業地又は通学地
(ケ) 在学、卒業等教育の状況	(タ) 従業地又は通学地までの利用交通手段
(コ) 就業状態	
(サ) 就業時間	

イ 世帯に関する事項(6項目)

(ア) 世帯の種類	(I) 住居の種類
(イ) 世帯員の数	(オ) 住宅の床面積の合計
(ウ) 家計の収入の種類	(カ) 住宅の建て方

6 調査の方法

調査の流れ

調査は、統計局 - 都府県 - 市区町 - 調査員 - 世帯の流れにより実施

調査の方法

ア 調査票の配布は、「調査票配布期間延長型」と「調査票配布期間従来型」の二つの方法で実施

(ア)調査票配布期間延長型

調査員は、調査期日前の約2週間で世帯と面接し、記入依頼を行った上で調査票を配布

なお、世帯が不在等で面接できない場合であっても、再三訪問して世帯との面接に努め、最終的に世帯と面接できない場合は、調査票を郵便受けに入れるなどして配布

(イ)調査票配布期間従来型

調査員は、調査期日前の約1週間で世帯と面接し、記入依頼を行った上で調査票を配布

なお、世帯が不在等で面接できない場合は、日・時間を変えて訪問することとし、その訪問回数の上限を3回とする。この訪問回数内に世帯と面接できない場合は、調査票を郵便受けに入れるなどして配布

イ 調査票の提出は、市区町への郵送により行うことを原則とするが、調査員への提出や役所への直接提出についても可

ウ 調査期日以後、調査員は調査区内の全世帯に対し、『調査票の提出はお済みですか』（確認状）を配布

エ 所定の期間内に調査票が提出されていない世帯（調査票未提出世帯）があった場合、調査員は、市区町からの指示に基づき、次の方法により、当該世帯からの調査票を回収

(ア)調査票未提出世帯を訪問し、面接の上、調査票を直接回収

(イ)調査票未提出世帯が不在等の場合は、再三訪問して世帯との面接に努める。

なお、世帯と面接できないなど、最終的に調査票の提出を直接依頼できない場合には、『調査票提出のお願い』（督促状）及び調査票等を当該世帯の郵便受けに入れるなどして配布

申告の方法

申告は、世帯主（世帯の代表者を含む）又は世帯員が調査票に記入する方法

7 世帯アンケートの実施

調査の対象

第1次試験調査の調査の対象と同じ。

把握事項

ア 調査員について

(ア)訪問した調査員は顔見知りか否か

(イ)郵送提出による調査方法の場合、調査員は顔見知りがよいかどうか

イ 調査方法について

(ア) 調査票の受取状況

(イ) 調査票の提出状況

(ウ) 郵送提出による調査票の提出方法に関する意見

(エ) インターネットを利用した回答方法に関する意見

ウ 調査票及び「調査票の記入のしかた」について

(ア) 「住宅の床面積の合計（延べ面積）」の記入に関する意見

(イ) 「勤め先・業主などの名称及び事業の内容」の記入に関する意見

調査票乙の場合は「勤め先・業主などの事業の内容」

(ウ) 「本人の仕事の内容」の記入に関する意見

エ 回答者の属性について

(ア) 性別、年齢

(イ) 世帯内の世帯人員

(ウ) 居住している住居形態

オ その他

その他、今回の試験調査や国勢調査に関する意見

実施方法

ア 調査の流れ

調査は、総務省統計局 都府県 市区町 調査員 世帯の流れにより実施
ただし、アンケートの回収は、世帯が総務省統計局に直接郵送することにより実施

イ 調査の方法

調査は、調査票未回収世帯からの調査票の回収期間中に、調査員が世帯ごとに世帯アンケート及び総務省統計局あての返送用封筒等を世帯に配布し、アンケートの記入及び平成19年7月末までの返送を依頼する方法で実施

ウ 申告の方法

申告は、世帯主（世帯の代表者を含む。）又は世帯員がアンケートに記入することにより実施

回収率

世帯アンケートは、23,748 の対象世帯（暫定）に依頼し、10,333 世帯（暫定）から返送（回収率：43.5%）

8 その他

第1次試験調査及び世帯アンケートは、国勢調査令第15条第1項第6号及び第2項第8号に規定する「調査方法についての基礎調査」として実施

なお、調査の実施については、統計報告調整法に基づく統計報告の徴集（いわゆる承認統計調査）として承認

調査票の概数集計結果

1 全体の状況

14市区町全体で、調査票を提出した世帯数は18,326世帯（77.2%）、調査票を提出していない世帯数は5,391世帯（22.7%）となっている。

調査票を提出した世帯について、提出方法別にみると、郵送提出が16,555世帯（90.3%）と最も多く、調査員による回収は1,368世帯（7.5%）となっている。

また、調査票を提出した世帯について、提出時期別にみると、調査票未提出世帯からの調査票の回収（以下「フォローアップ回収」という。）前までに調査票を回収した世帯数は15,097世帯（82.4%）、フォローアップ回収後に調査票を回収した世帯数は3,229世帯（17.6%）となっている。

フォローアップ回収前に調査票を提出した世帯について、提出方法別にみると、郵送提出の割合が96.2%と極めて高くなっている。フォローアップ回収後の提出方法についてみると、調査員による回収を原則としたため、フォローアップ回収前に比べ、調査員回収の割合が高くなっているものの、その割合は郵送提出より低くなっている。

	総数	総 数				フォローアップ回収前				フォローアップ回収後				未回収
		総数	郵送提出	調査員回収	市区町に直接提出	総数	郵送提出	調査員回収	市区町に直接提出	総数	郵送提出	調査員回収	市区町に直接提出	
総 数	23,748	18,326	16,555	1,368	403	15,097	14,527	221	349	3,229	2,028	1,147	54	5,391
構成比 1	100.0	77.2	69.7	5.8	1.7	63.6	61.2	0.9	1.5	13.6	8.5	4.8	0.2	22.7
構成比 2	-	100.0	90.3	7.5	2.2	82.4	79.3	1.2	1.9	17.6	11.1	6.3	0.3	-
構成比 3	-	100.0	90.3	7.5	2.2	100.0	96.2	1.5	2.3	100.0	62.8	35.5	1.7	-

【参考】平成 17 年国勢調査第 1 次試験調査（郵送方式）

	総数	1次受付 期間内に 提出され た調査票	督促状投 函後に提 出された 調査票	直接収集 した調査 票	聞き取り 調査票	その他
総数	2,105	66.1	13.3	14.2	5.5	0.8
地域 特性						
新興住宅の多い地域	455	64.8	14.9	9.5	2.4	0.2
その他一戸建地域	427	52.9	14.8	16.9	3.7	0.9
オートマンション・ワルムマンション地域	401	60.1	11.5	7.5	11.7	0.5
その他の共同住宅地域	414	57.2	12.6	17.9	3.1	0.7
繁華街、商店街などの地域	408	50.0	12.7	19.6	7.1	1.7

平成17年国勢調査第1次試験調査（郵送方式）の調査票回収に係る日程

- ・ 調査日 7月13日（土）
- ・ 1次受付・提出状況の確認 7月15日（月）～7月23日（火）
- ・ 督促状の配布 7月25日（木）～7月26日（金）
- ・ 2次受付・提出状況の確認 7月24日（水）～7月30日（火）
- ・ 未提出世帯からの調査票の回収 8月1日（木）～8月4日（日）

2 地域特性別の状況

地域特性別にみると、一戸建の多い地域（90.5%）で調査票を提出した世帯の割合が高くなっている。一方、ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域（53.1%）で調査票を提出した世帯の割合が低くなっている。

なお、外国人の調査に当たっては、外国語に翻訳した調査書類を用い、この書類にも郵送提出の旨を記述したところであるが、外国人の多い地域においては、他の地域に比べ、調査員回収の割合が比較的高くなっている。

	総数	総 数				フォローアップ回収前				フォローアップ回収後				未回収
		総数	郵送提出	調査員回収	市区町に直接提出	総数	郵送提出	調査員回収	市区町に直接提出	総数	郵送提出	調査員回収	市区町に直接提出	
一戸建の多い地域	6,643	6,013	5,400	457	156	5,087	4,858	89	140	926	542	368	16	625
構成比	100.0	90.5	81.3	6.9	2.3	76.6	73.1	1.3	2.1	13.9	8.2	5.5	0.2	9.4
共同住宅の多い地域	6,854	5,085	4,404	504	177	3,987	3,799	41	147	1,098	605	463	30	1,766
構成比	100.0	74.2	64.3	7.4	2.6	58.2	55.4	0.6	2.1	16.0	8.8	6.8	0.4	25.8
建物1棟でいくつかの調査区を構成しているオートロックマンション	4,787	3,774	3,578	164	32	3,214	3,170	16	28	560	408	148	4	1,002
構成比	100.0	78.8	74.7	3.4	0.7	67.1	66.2	0.3	0.6	11.7	8.5	3.1	0.1	20.9
ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域	2,915	1,548	1,459	70	19	1,258	1,229	12	17	290	230	58	2	1,363
構成比	100.0	53.1	50.1	2.4	0.7	43.2	42.2	0.4	0.6	9.9	7.9	2.0	0.1	46.8
外国人の多い地域	2,549	1,903	1,711	173	19	1,551	1,471	63	17	352	240	110	2	638
構成比	100.0	74.7	67.1	6.8	0.7	60.8	57.7	2.5	0.7	13.8	9.4	4.3	0.1	25.0

3 調査票の種類別の状況

「事業所・業主などの名称」を記入する調査票甲（B4判）と、「事業所・業主などの名称」を記入しない調査票乙（A4判）で調査を実施したが、調査票の違いによる調査票の提出状況に差異はなかった。

	総数	総 数				フォローアップ回収前				フォローアップ回収後				未回収
		総数	郵送提出	調査員回収	市区町に直接提出	総数	郵送提出	調査員回収	市区町に直接提出	総数	郵送提出	調査員回収	市区町に直接提出	
調査票 甲	12,012	9,322	8,419	662	241	7,758	7,400	147	211	1,564	1,019	515	30	2,670
構成比	100.0	77.6	70.1	5.5	2.0	64.6	61.6	1.2	1.8	13.0	8.5	4.3	0.2	22.2
調査票 乙	11,736	9,004	8,136	706	162	7,339	7,127	74	138	1,665	1,009	632	24	2,721
構成比	100.0	76.7	69.3	6.0	1.4	62.5	60.7	0.6	1.2	14.2	8.6	5.4	0.2	23.2

4 調査票配布期間別の状況

世帯が不在の場合であっても、再三世帯を訪問するため調査票配布期間を15日間とした「延長型」と、世帯が不在の場合の訪問回数の上限を定めて従来の調査票配布期間（8日間）とした「従来型」の二通りの設定で調査を実施したが、調査票配布期間の設定の違いによる調査票の提出状況に差異はなかった。

なお、「延長型」のほうが調査票を提出した世帯の割合が若干低くなっているが、これは調査票配布期間が長いことにより、調査協力の意識が持続しない、また、調査票の提出を忘れてしまうなどの状況が考えられる。

	総数	総 数				フォローアップ回収前				フォローアップ回収後				未回収
		総数	郵送提出	調査員回収	市区町に直接提出	総数	郵送提出	調査員回収	市区町に直接提出	総数	郵送提出	調査員回収	市区町に直接提出	
延長型	11,904	8,969	8,135	619	215	7,373	7,102	91	180	1,596	1,033	528	35	2,919
構成比	100.0	75.3	68.3	5.2	1.8	61.9	59.7	0.8	1.5	13.4	8.7	4.4	0.3	24.5
従来型	11,844	9,354	8,417	749	188	7,724	7,425	130	169	1,630	992	619	19	2,475
構成比	100.0	79.0	71.1	6.3	1.6	65.2	62.7	1.1	1.4	13.8	8.4	5.2	0.2	20.9

5 調査員の経験年数別の状況

調査員の経験年数による調査票の提出状況に差異はなかった。

	総数	総 数				フォローアップ回収前				フォローアップ回収後				未回収
		総数	郵送提出	調査員回収	市区町に直接提出	総数	郵送提出	調査員回収	市区町に直接提出	総数	郵送提出	調査員回収	市区町に直接提出	
0年	6,733	5,304	4,748	379	177	4,435	4,226	46	163	869	522	333	14	1,418
構成比	100.0	78.8	70.5	5.6	2.6	65.9	62.8	0.7	2.4	12.9	7.8	4.9	0.2	21.1
1年	3,900	2,910	2,598	224	88	2,476	2,354	43	79	434	244	181	9	990
構成比	100.0	74.6	66.6	5.7	2.3	63.5	60.4	1.1	2.0	11.1	6.3	4.6	0.2	25.4
2年	3,912	3,060	2,800	228	32	2,603	2,539	41	23	457	261	187	9	851
構成比	100.0	78.2	71.6	5.8	0.8	66.5	64.9	1.0	0.6	11.7	6.7	4.8	0.2	21.8
3年～5年	4,027	3,007	2,713	240	54	2,238	2,169	27	42	769	544	213	12	1,017
構成比	100.0	74.7	67.4	6.0	1.3	55.6	53.9	0.7	1.0	19.1	13.5	5.3	0.3	25.3
6年～9年	1,966	1,625	1,481	124	20	1,337	1,307	17	13	288	174	107	7	336
構成比	100.0	82.7	75.3	6.3	1.0	68.0	66.5	0.9	0.7	14.6	8.9	5.4	0.4	17.1
10年以上	3,210	2,417	2,212	173	32	2,008	1,932	47	29	409	280	126	3	782
構成比	100.0	75.3	68.9	5.4	1.0	62.6	60.2	1.5	0.9	12.7	8.7	3.9	0.1	24.4

6 担当調査区の地理についての調査員の認知度別の状況

担当調査区の地理について、調査員がどの程度知っていたかの別による調査票の提出状況に差異はなかった。

	総数	総 数				フォローアップ回収前				フォローアップ回収後				未回収
		総数	郵送提出	調査員回収	市区町に直接提出	総数	郵送提出	調査員回収	市区町に直接提出	総数	郵送提出	調査員回収	市区町に直接提出	
調査員が調査区の地理をよく知っていた地域	9,154	7,407	6,772	456	179	6,303	6,043	101	159	1,104	729	355	20	1,733
構成比	100.0	80.9	74.0	5.0	2.0	68.9	66.0	1.1	1.7	12.1	8.0	3.9	0.2	18.9
調査員が調査区の地理を多少知っていた地域	10,102	7,373	6,577	644	152	5,883	5,667	87	129	1,490	910	557	23	2,718
構成比	100.0	73.0	65.1	6.4	1.5	58.2	56.1	0.9	1.3	14.7	9.0	5.5	0.2	26.9
調査員が調査区の地理をほとんど知らなかった地域	3,965	3,124	2,800	252	72	2,533	2,439	33	61	591	361	219	11	837
構成比	100.0	78.8	70.6	6.4	1.8	63.9	61.5	0.8	1.5	14.9	9.1	5.5	0.3	21.1

7 担当調査区内の世帯についての調査員の認知度別の状況

担当調査区内の世帯について、調査員がどの程度知っていたかの別にみると、調査区内の世帯をよく知っていた地域で調査票を提出した世帯の割合が高くなっている。

	総数	総 数				フォローアップ回収前				フォローアップ回収後				未回収
		総数	郵送提出	調査員回収	市区町に直接提出	総数	郵送提出	調査員回収	市区町に直接提出	総数	郵送提出	調査員回収	市区町に直接提出	
調査員が調査区内の世帯をよく知っていた地域	2,817	2,394	2,137	154	103	2,075	1,938	45	92	319	199	109	11	416
構成比	100.0	85.0	75.9	5.5	3.7	73.7	68.8	1.6	3.3	11.3	7.1	3.9	0.4	14.8
調査員が調査区内の世帯を多少知っていた地域	5,670	4,282	3,953	226	103	3,651	3,516	36	99	631	437	190	4	1,376
構成比	100.0	75.5	69.7	4.0	1.8	64.4	62.0	0.6	1.7	11.1	7.7	3.4	0.1	24.3
調査員が調査区内の世帯をほとんど知らなかった地域	14,560	11,064	9,928	943	193	8,860	8,566	139	155	2,204	1,362	804	38	3,484
構成比	100.0	76.0	68.2	6.5	1.3	60.9	58.8	1.0	1.1	15.1	9.4	5.5	0.3	23.9

記録表の取りまとめ概要結果

1 調査票の受付状況について【調査状況等記録表】

世帯からの調査票の郵送提出状況を日別にみると、市区町で受け付けた調査票が最も多かったのは、7月9日(月)の2,296件(郵送提出世帯数に占める割合14.6%)で、次いで17日(火)の2,031件(同12.9%)、13日(金)の1,961件(同12.5%)となっている。この3日の件数は、いずれも郵送提出期日である7月12日(木)の件数(1,913件、12.2%)を上回っており、世帯の調査票提出行動には、郵送提出期日のほか、休日などの曜日が大きく影響していることが考えられる。

7月16日(月)は海の日による祝日

図1 日別の調査票の受付状況

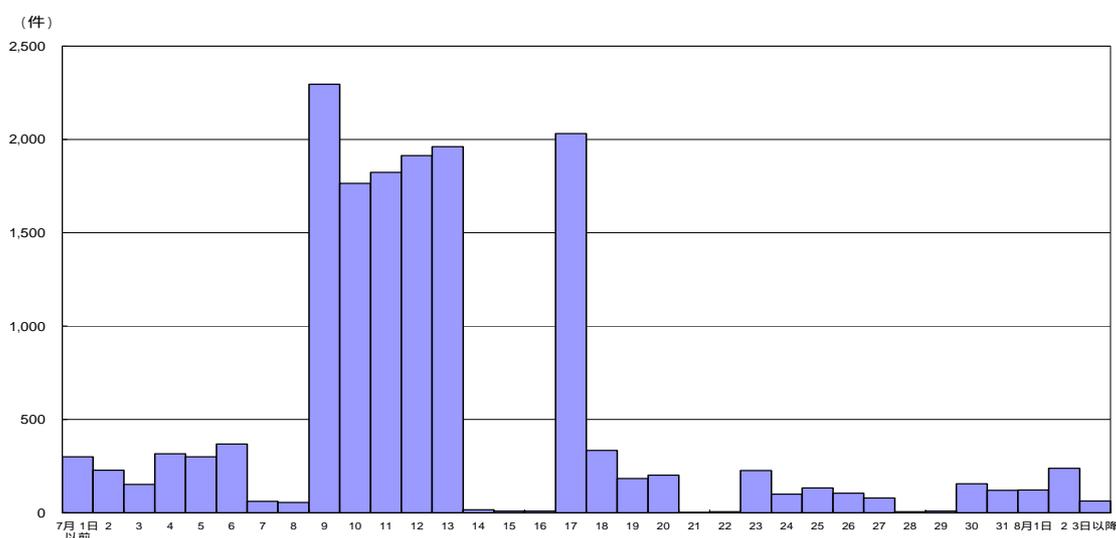


表1 日別の調査票の受付状況

	総数	調査日											
		7月1日以前	2月	3火	4水	5木	6金	7土	8日	9月	10火	11水	12木
実数	15,691	300	228	152	316	300	368	61	56	2,296	1,765	1,824	1,913
構成比	100.0	1.9	1.5	1.0	2.0	1.9	2.3	0.4	0.4	14.6	11.2	11.6	12.2
調査事務日程	調査票配布						世帯からの郵送提出、調査員による回収期間						

	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	
実数	1,961	16	9	9	2,031	334	184	202	2	6	227	100	133	105	79	6	9	
構成比	12.5	0.1	0.1	0.1	12.9	2.1	1.2	1.3	0.0	0.0	1.4	0.6	0.8	0.7	0.5	0.0	0.1	
調査事務日程	調査票未提出世帯の特定等						調査票未提出世帯からの回収期間											

	30	31	8月1日	2	3日以降
	月	火	水	木	
実数	156	120	122	238	63
構成比	1.0	0.8	0.8	1.5	0.4
調査事務日程					

2 『世帯名簿』のシールの貼付について【調査員記録表】

調査員が、『調査票提出用封筒』や『調査票の記入のしかた』に、『世帯名簿』のシールを貼付することについては、118人（72.4%）の調査員が気づいた点があるとしており、多くの調査員から意見があった。

表2 『世帯名簿』のシールの貼付について気付いた点の有無

	総数	なかった	あった	不詳
実数	163	36	118	9
構成比	100.0	22.1	72.4	5.5

【主な意見】

- ・ シールが剥がしづらい。
- ・ 調査票配布時にシールを貼付するのは困難である。
- ・ 『調査票の記入のしかた』に貼付する照会番号シールは不要ではないか。
- ・ 世帯への配布時に、シールの貼付誤りがないか確認するのに気を使う。
- ・ 『調査票の記入のしかた』に照会番号シールを貼付するのは、表紙又は裏表紙がよい。
- ・ 世帯では調査票の記入が終了すると、『調査票の記入のしかた』は廃棄してしまうので、保管を明記したほうがよい。

3 世帯名簿の受付事務【調査状況等記録表】

(1) 世帯名簿の受付に要した事務量

市区町が、調査員から提出された『世帯名簿』の受付及び複写に要した延べ人員は、14市区町の平均で2.3人日となっている。

日別にみると、調査員への提出を希望する世帯から調査票を回収する期限となっている7月12日以降が0.7人日で最も多くなっており、次いで調査期日（7月6日）以降で最初の週明けとなる9日が0.6人日となっている。

また、『世帯名簿』（副本）の調査区番号及び世帯名簿番号を「調査票受付状況管理システム」に入力するために要した延べ人員は、14市区町の平均で1.2人日となっている。

表3 世帯名簿等の受付状況

（単位：人日）

	世帯名簿の受付及び複写に要した延べ人員								「管理システム」の入力に要した人員
	7月6日 (金)	7日 (土)	8日 (日)	9日 (月)	10日 (火)	11日 (水)	12日以降	計	
平均人員	0.2	0.2	0.1	0.6	0.4	0.2	0.7	2.3	1.2

(2) 世帯名簿の受付事務についての意見・提案

- ・ 本調査を考慮すると事務負担が大きい。
- ・ 記入欄を含め、『世帯名簿』全面がシール印刷だったため、自動用紙送りによる複写が行えなかったため時間を要した。
- ・ 調査区番号と世帯名簿番号との対応付けを、調査員に『世帯名簿』を配布する前に、あらかじめ行えるようにしてほしい。
- ・ 市区町村における事務負担を考慮して、『世帯名簿』を複写式の様式としてはどうか。
- ・ 世帯名簿番号のバーコードの位置が、世帯配布用のバーコードの位置と近かったため、誤って読み取ってしまった。

4 調査票の受付事務【調査状況等記録表】

(1) 『調査票提出用封筒』のバーコードの読み取りに要した事務量

世帯から提出された『調査票提出用封筒』に貼付されているバーコードの読み取りに要した事務量をみると、7市区町が1人日未満で最も多くなっている。14市区町の平均で1.4人日となっている。

表4 - 1 『調査票提出用封筒』のバーコードの読み取り

バーコードの読み取りに要した延べ人員	1人日未満	1人日～2人日未満	2人以上	14市区町平均
市区町数	7	3	4	1.4人日

(2) 『調査票提出用封筒』のバーコードの貼付状況

ア バーコードが貼付されていなかった件数

世帯から提出された『調査票提出用封筒』にバーコードが貼付されていなかった件数をみると、14市区町の総数で52件となっており、調査票提出世帯に占める割合（未貼付率）は0.28%となっている。

これを未貼付の件数別にみると、2市区町で10件以上となっている。一方、未貼付がなかったのは4市区町となっている。

なお、バーコードが未貼付の事例として、調査員の貼付漏れのほか、世帯が剥がして提出している場合もあると報告されている。

表4 - 2 『調査票提出用封筒』へのバーコードの未貼付の状況

未貼付件数	未貼付なし	1～4件	5～9件	10件以上	未貼付件数総数	未貼付率
市区町数	4	5	3	2	52件	0.28%

イ 誤って別の世帯のバーコードが貼付されていた件数

世帯から提出された『調査票提出用封筒』に、誤って別の世帯のバーコードが貼付されていた件数をみると、14市区町の総数で67件となっており、調査票提出世帯に占める割合（誤貼付率）は0.36%となっている。

これを貼付誤りの件数別にみると、3市区町で10件以上となっている。一方、貼付誤りがなかったのは4市区町となっている。

表4-3 『調査票提出用封筒』へのバーコードの誤貼付の状況

誤貼付件数	誤貼付なし	1～4件	5～9件	10件以上	誤貼付件数 総数	誤貼付率
市区町数	4	7	0	3	67件	0.36%

ウ バーコード読み取りに支障を来たした事象

上記のア、イによるもののほか、バーコード読み取りに支障を来たした事象として、以下のとおり報告されている。

- ・ 『調査票提出用封筒』に貼付されたバーコードの破れ、しわによって、読み取りが行えない事例があった。
- ・ 『調査票提出用封筒』にバーコードではなく、照会番号シールを貼付
- ・ 2世帯住宅で、それぞれの世帯に対して『調査票提出用封筒』を配布したにもかかわらず、ひとつの封筒で提出されてきた。
- ・ 読み取りの作業中に、「調査票受付状況管理システム」に不具合が生じ、データの保存ができないことがあった。
- ・ 読み取り漏れが生じた場合、どの『調査票提出用封筒』を読み取っていないのか特定するのに時間がかかる。

(3) 調査票受付事務についての意見・提案

- ・ バーコードの読み取り漏れ、貼付誤り、『調査票提出用封筒』の配布誤りが生じた場合の対応が困難
- ・ 本調査を考慮すると、作業スペースの確保、適正な台数のバーコードリーダーの措置など工夫が必要
- ・ 事務が煩雑で本調査での対応は困難。調査票をOCRに入力し受付管理するシステムを導入すべき。
- ・ 調査票又は『調査票提出用封筒』へのバーコードのプレプリント
- ・ バーコードの読み取り漏れを防止するために、『調査票提出用封筒』の枚数と「調査票受付状況管理システム」に登録された件数とを常に確認しながら、調査票の受付を行った。
- ・ 調査票受付事務の効率化に資する「調査票受付状況管理システム」の改善

バーコードの重複読み込みを行えないシステムにしてほしい。

登録画面に市区町村において自由に入力が行える「備考欄」の設計

5 調査員への調査票未提出世帯の指示状況【調査状況等記録表】

(1) 調査員に対して調査票未提出世帯の指示を行うまでに要した事務量

「受付状況確認リスト」に基づき、調査票未提出世帯を特定し、調査員に対し、調査票未提出世帯からの調査票の回収（以下「フォローアップ回収」という。）について1回目の指示を行うまでに要した事務量をみると、14市区町の平均で2.8人日となっている。

日別にみると、フォローアップ回収が始まる直前の7月17日以降が1.4人日で最も多くなっている。

表5 - 1 調査票未提出世帯の指示までに要した事務量 (単位：人日)

	7月12日 以前	13日 (金)	14日 (土)	15日 (日)	16日 (月)	17日以降	計
平均人員	0.3	0.5	0.2	0.2	0.2	1.4	2.8

(2) フォローアップ回収期間中における調査票受付状況の調査員への連絡について

フォローアップ回収期間中に世帯から市区町に調査票が提出された場合の調査員への連絡については、多くの市区町が毎日行っている。

調査員への連絡には、すべての市区町が電話を用いているが、FAXや電子メールを用いた市区町もある。

表5 - 2 フォローアップ期間中の調査員への連絡状況

	連絡頻度			連絡方法			
	毎日	随時	2～3日 お き	電話のみ	電話と FAX	電話と 郵便	電 話、 FAX、 電子メール
市区町数	10	2	2	10	2	1	1

(3) 調査員への調査票未提出世帯の指示についての意見・提案

- ・ 調査員にフォローアップ対象世帯を指示する方法については、本調査での事務量を考慮すると、電話以外による方法を検討する必要がある。

調査票受付状況管理システムに、調査員の住所・氏名を入力することで、調査員の住所・氏名を印刷した未提出世帯のリストを作成する機能を追加し、これを窓あき封筒で送付する。

自動音声による電話、FAX、電子メールを活用して、自動的に調査員にフォローアップ対象世帯を通知するシステム

最新の調査票提出状況を案内するコールセンターを設置し、調査員が直接問い合わせる方式
効率的に調査員にフォローアップ対象世帯を通知する方法が必要だが、一方で誤りなく伝えるためには世帯名簿番号と行番号のみで指示するのではなく、世帯番号、世帯主の姓を伝えることも重要

- ・ 調査票を遅れて提出する世帯があること、調査員との行き違いのトラブルなどを考慮して、調査票郵送提出期限からフォローアップ対象世帯の指示までには、十分な期間をとる必要がある。
- ・ フォローアップ対象世帯から、既に調査票を提出したと言われた場合の確認するためには、調査票だけでなく『調査票提出用封筒』を保存しておく必要がある。
- ・ 『世帯名簿』の行番号によるフォローアップ対象世帯の特定は分かりにくい。（特に、2枚目以降の『世帯名簿』）
- ・ バーコード（照会番号）の番号の下2桁は、『世帯名簿』の行番号と一致していたほうがよい。
- ・ フォローアップ対象世帯の特定を効率的に行うための「調査票受付状況管理システム」の改善

単位区の何枚目の『世帯名簿』か、使用している行数を入力することで、調査票未提出世帯のリストを作成する際に、未使用の行番号が印刷されないようにする。

未提出世帯の印刷画面プレビュー時に、全世帯提出済の世帯名簿が表示されないため、入力漏れか全世帯提出済かの判断ができない。

6 担当調査区数について【調査員記録表】

(1) 2 調査区担当地域

担当した調査区数の適否については、「適切だった」の割合（61.5%）が大きくなっている。

調査方法別、国勢調査経験別にみても、「適切だった」の割合が大きくなっているが、地域特性別にみると「ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域」で、「適切ではなかった」の割合が大きくなっている。

表6 - 1 担当調査区数の適否（2 調査区担当地域）

	総 数	構成比			
		適 切 だ っ た	適 切 で は な け っ た	不 詳	
総数	96	61.5	35.4	3.1	
調 査 方 法	調査票配布期間延長型	48	64.6	33.3	2.1
	調査票配布期間従来型	48	58.3	37.5	4.2
地 域 特 性	調査困難地域				
	オートロックマンション	48	70.8	27.1	2.1
	単身者が居住する住宅が多い地域	24	41.7	54.2	4.2
	外国人が多い地域	24	62.5	33.3	4.2
国 勢 調 査 経 験	国勢調査員の経験あり	61	60.7	34.4	4.9
	国勢調査員の経験なし	35	62.9	37.1	-

(2) 4 調査区担当地域

担当した調査区数の適否については、「適切ではなかった」の割合（61.9%）が大きくなっている。

調査方法別にみると、「適切ではなかった」の割合が大きくなっているが、国勢調査経験別にみると「国勢調査員経験なし」で、「適切だった」の割合が大きくなっており、地域特性別にみると「一戸建の多い地域」で、「適切だった」と「適切でなかった」の割合が同数となっている。

表6 - 2 担当調査区数の適否（4 調査区担当地域）

	総 数	構成比			
		適 切 だ っ た	適 切 で は な け っ た	不 詳	
総数	63	31.7	61.9	6.3	
調 査 方 法	調査票配布期間延長型	32	34.4	59.4	6.3
	調査票配布期間従来型	31	29.0	64.5	6.5
地 域 特 性	一般地域				
	一戸建の多い地域	31	45.2	45.2	9.7
	共同住宅の多い地域	32	18.8	78.1	3.1
国 勢 調 査 経 験	国勢調査員の経験あり	42	21.4	69.0	9.5
	国勢調査員の経験なし	21	52.4	47.6	-

世帯アンケートの概数集計結果

1 回答者について

世帯アンケート回答者は、10,333人で、年齢階級別にみると、50歳代が最も多く2,261人（21.9%）、次いで60歳代が1,981人（19.2%）となっている。

これを男女別にみると、男性は60歳代が最も多く987人（9.6%）、女性は50歳代が最も多く1,338人（12.9%）となっている。

表1 回答者について - 男女、年齢階級別 -

	総数	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	不詳
総数	10,333	54	650	1,557	1,840	2,261	1,981	1,648	342
(構成比)	100.0	0.5	6.3	15.1	17.8	21.9	19.2	15.9	3.3
男	4,253	25	245	493	664	894	987	886	59
(構成比)	41.2	0.2	2.4	4.8	6.4	8.7	9.6	8.6	0.6
女	5,685	28	401	1,051	1,161	1,338	959	681	66
(構成比)	55.0	0.3	3.9	10.2	11.2	12.9	9.3	6.6	0.6
不詳	395	1	4	13	15	29	35	81	217
(構成比)	3.8	0.0	0.0	0.1	0.1	0.3	0.3	0.8	2.1

2 「今回のような郵送で調査票を提出する方法について、どのように思いますか」
について

男女、年齢別の状況

「今回のような郵送で調査票を提出する方法について、どのように思いますか」
について、「調査員に手渡さなくてもよいので、提出しやすい」が最も多く87.4%
となっている。

これを年齢階級別にみると、ほぼすべての年齢階級で「調査員に手渡さなくて
もよいので、提出しやすい」が80%以上と最も多くなっている。

表2 「今回のような郵送で調査票を提出する方法について、どのように思いますか」
について - 男女、年齢階級別 - (%)

	総数 (実数)	調査員に手渡 さなくてもよ いので、提出 しやすい	他の方法で提 出する方がよ い	わからない	不詳
総数	10,333	87.4	7.8	4.2	0.6
20歳未満	54	87.0	3.7	9.3	0.0
20歳代	650	86.9	5.5	7.4	0.2
30歳代	1,557	87.7	6.6	5.2	0.4
40歳代	1,840	88.5	5.9	5.2	0.5
50歳代	2,261	91.0	5.3	3.4	0.4
60歳代	1,981	88.9	7.1	3.2	0.8
70歳以上	1,648	80.7	15.1	3.1	1.1
不詳	342	79.8	14.0	5.3	0.9
男	4,253	87.4	7.8	4.3	0.5
20歳未満	25	84.0	0.0	16.0	0.0
20歳代	245	86.5	4.9	8.6	0.0
30歳代	493	87.2	6.1	6.7	0.0
40歳代	664	87.0	7.4	5.3	0.3
50歳代	894	89.6	5.8	4.1	0.4
60歳代	987	89.3	7.0	3.0	0.7
70歳以上	886	83.6	12.8	2.5	1.1
不詳	59	86.4	10.2	3.4	0.0
女	5,685	88.3	7.2	3.9	0.6
20歳未満	28	92.9	3.6	3.6	0.0
20歳代	401	87.5	6.0	6.2	0.2
30歳代	1,051	88.2	6.7	4.5	0.7
40歳代	1,161	89.6	4.9	4.9	0.6
50歳代	1,338	92.2	4.8	2.8	0.2
60歳代	959	88.8	7.1	3.1	0.9
70歳以上	681	77.7	17.8	3.5	1.0
不詳	66	93.9	4.5	1.5	0.0

男女の別の不詳を含む。

【参考】

平成 17 年国勢調査事後調査の際に行った世帯アンケート結果

(平成 17 年国勢調査事後調査は任意封入方式で実施)

「郵送提出を希望するか」について

郵送提出を「希望する」は 46.9%、「希望しない」は 43.4%となっている。

年齢階級別にみると、20 歳代から 50 歳代では「希望する」が「希望しない」を上回っているが、他の年齢階級では「希望しない」が上回っている。

調査票の郵送提出を希望するか - 年齢階級別

	総数	希望する	希望しない
総数	6,940人	46.9%	43.4%
20歳未満	35	17.1	77.1
20歳代	405	53.6	40.2
30歳代	939	54.0	41.3
40歳代	1,109	55.4	38.2
50歳代	1,568	51.5	41.6
60歳代	1,411	44.5	46.8
70歳以上	1,233	35.2	53.9

地域特性別の状況

オートロックマンション地域、単身者の多い地域、外国人の多い地域など比較的調査困難な事象が多く見込まれる地域において、「調査員に手渡さなくてもよいので、提出しやすい」の割合が高くなっている。

表3 「今回のような郵送で調査票を提出する方法について、どのように思いますか」
について - 地域特性別 - (%)

	総数 (実数)	調査員に手渡 さなくてもよ いので、提出 しやすい	他の方法で 提出する方 がよい	わからない	不詳
一戸建の多い地域	3,085	87.0	8.1	4.1	0.7
共同住宅の多い地域	2,400	85.2	8.7	5.5	0.6
建物1棟でいくつかの調 査区を構成しているオー トロックマンション	1,855	90.0	6.5	3.1	0.3
ワンルームマンションな ど単身者が居住する住宅 の多い地域	835	87.8	7.3	4.4	0.5
外国人の多い地域	842	87.3	7.2	4.4	1.1

3 「他の方法で提出する方がよい理由」について

「他の方法で提出する方がよい」と回答した人について、その理由別にみると、「郵便ポストに投函に行くのがめんどうだから」が30.1%と最も多く、次いで「市・区役所又は町役場に届いたかどうかわからないから」が29.7%となっている。

これを年齢階級別にみると、20～40歳代は「郵便ポストに投函に行くのがめんどうだから」、50歳代は「市・区役所又は町役場に届いたかどうかわからないから」、60歳代以上は「提出する際に調査事項についての質問ができないから」が最も多くなっている。

男女別にみると、男性は「市・区役所又は町役場に届いたかどうかわからないから」が31.3%と最も多く、女性は「郵便ポストに投函に行くのがめんどうだから」が34.1%と最も多くなっている。

表4 「他の方法で提出する方がよい理由」（複数回答）について - 男女、年齢階級別（%）

	有効回答者数 (実数)	市・区役所又は町役場に届いたかどうかわからないから	郵便ポストに投函に行くのがめんどうだから	提出する際に調査事項についての質問ができないから	その他
総数	582	29.7	30.1	21.0	19.2
20歳未満	1	0.0	0.0	100.0	0.0
20歳代	30	21.6	48.6	16.2	13.5
30歳代	91	35.1	39.6	8.1	17.1
40歳代	97	34.2	35.1	12.3	18.4
50歳代	98	39.8	28.5	16.3	15.4
60歳代	103	24.4	24.4	29.3	22.0
70歳以上	133	18.9	21.7	34.3	25.2
不詳	29	34.5	24.1	27.6	13.8
男	235	31.3	27.3	22.3	19.1
20歳未満	0	0.0	0.0	0.0	0.0
20歳代	10	26.7	53.3	6.7	13.3
30歳代	25	33.3	40.0	20.0	6.7
40歳代	43	43.4	26.4	15.1	15.1
50歳代	45	32.7	27.3	16.4	23.6
60歳代	52	27.1	25.4	25.4	22.0
70歳以上	58	25.0	17.2	35.9	21.9
不詳	2	0.0	50.0	0.0	50.0
女	303	27.9	34.1	18.4	19.6
20歳未満	0	0.0	0.0	0.0	0.0
20歳代	20	18.2	45.5	22.7	13.6
30歳代	64	35.4	40.5	3.8	20.3
40歳代	52	27.1	44.1	8.5	20.3
50歳代	51	47.0	30.3	15.2	7.6
60歳代	47	22.0	22.0	33.9	22.0
70歳以上	66	11.4	27.1	31.4	30.0
不詳	3	0.0	66.7	33.3	0.0

男女の別の不詳を含む。

4 「どのような方法がよいですか」について

「他の方法で提出する方がよい」と回答した人について、その方法別にみると、「調査員に封をして提出する方がよい」が47.4%と最も多く、次いで「市・区役所又は町役場に直接提出する方がよい」が23.1%となっている。

これを年齢階級別にみると、20歳代及び30歳代は「インターネットを利用して回答する方がよい」、40歳代以上は「調査員に封をして提出する方がよい」が最も多くなっている。

男女別にみると、女性は男性に比べて「調査員に封をして提出する方がよい」とする人が多くなっている。

表5 「どのような方法がよいですか」について - 男女、年齢階級別 - (%)

	有効回答者数 (実数)	調査員に封を して提出する 方がよい	市・区役所又 は町役場に直 接提出する方 がよい	インターネットを利 用して回答す る方がよい	その他
総数	629	47.4	23.1	16.1	13.5
20歳未満	2	100.0	0.0	0.0	0.0
20歳代	28	17.9	14.3	57.1	10.7
30歳代	81	29.6	17.3	42.0	11.1
40歳代	84	39.3	16.7	36.9	7.1
50歳代	90	47.8	22.2	13.3	16.7
60歳代	99	61.6	21.2	4.0	13.1
70歳以上	213	56.3	27.7	0.9	15.0
不詳	32	31.3	40.6	6.3	21.9
男	262	44.3	25.6	19.1	11.1
20歳未満	0	0.0	0.0	0.0	0.0
20歳代	10	20.0	0.0	70.0	10.0
30歳代	26	23.1	15.4	46.2	15.4
40歳代	39	30.8	15.4	46.2	7.7
50歳代	41	46.3	22.0	19.5	12.2
60歳代	47	48.9	29.8	8.5	12.8
70歳以上	95	55.8	32.6	1.1	10.5
不詳	4	25.0	75.0	0.0	0.0
女	316	51.3	19.0	14.6	15.2
20歳未満	1	100.0	0.0	0.0	0.0
20歳代	18	16.7	22.2	50.0	11.1
30歳代	53	34.0	18.9	39.6	7.5
40歳代	43	46.5	18.6	27.9	7.0
50歳代	47	51.1	19.1	8.5	21.3
60歳代	49	75.5	10.2	0.0	14.3
70歳以上	104	55.8	23.1	0.0	21.2
不詳	1	100.0	0.0	0.0	0.0

男女の別の不詳を含む。

5 「インターネットを利用して回答する方法について、どのように思いますか」について

男女、年齢別の状況

「インターネットを利用して回答する方法について、どのように思いますか」について、「インターネットを利用して回答したいとは思わない」が最も多く50.2%となっている。

これを年齢階級別にみると、30歳代以下は「どちらともいえない」、40歳代以上は「インターネットを利用して回答したいとは思わない」が最も多くなっている。

また、この結果を男女別にみると、「インターネットを利用して回答したい」について、男性は女性のほぼ2倍の割合となっている。

表6 「インターネットを利用して回答する方法について、どのように思いますか」について - 男女、年齢階級別 - (%)

	総数 (実数)	インターネットを利用して回答したい	インターネットを利用して回答したいとは思わない	どちらともいえない	不詳
総数	10,333	10.4	50.2	31.4	7.9
20歳未満	54	24.1	33.3	40.7	1.9
20歳代	650	27.2	24.3	47.4	1.1
30歳代	1,557	18.8	38.0	41.8	1.3
40歳代	1,840	15.0	45.7	37.4	2.0
50歳代	2,261	8.0	58.1	30.3	3.6
60歳代	1,981	4.7	61.6	24.0	9.6
70歳以上	1,648	1.6	54.1	20.2	24.1
不詳	342	5.8	45.6	23.7	24.9
男	4,253	14.7	45.5	32.6	7.2
20歳未満	25	28.0	40.0	32.0	0.0
20歳代	245	34.7	19.6	45.3	0.4
30歳代	493	30.2	27.2	41.2	1.4
40歳代	664	24.8	36.0	36.6	2.6
50歳代	894	14.3	48.1	34.6	3.0
60歳代	987	7.5	57.2	27.8	7.5
70歳以上	886	1.7	54.2	24.6	19.5
不詳	59	1.7	50.8	37.3	10.2
女	5,685	7.5	54.2	31.1	7.2
20歳未満	28	21.4	25.0	50.0	3.6
20歳代	401	22.7	27.2	48.9	1.2
30歳代	1,051	13.5	42.9	42.2	1.3
40歳代	1,161	9.4	51.2	37.8	1.6
50歳代	1,338	3.7	64.9	27.5	3.9
60歳代	959	1.9	66.3	20.4	11.4
70歳以上	681	1.2	54.9	14.5	29.4
不詳	66	3.0	59.1	19.7	18.2

男女の別の不詳を含む。

【参考】

平成 17 年国勢調査事後調査の際に行った世帯アンケート結果

「インターネット調査を希望するか」について

インターネット調査を「希望する」は 12.3%、「希望しない」は 78.2%となっている。

これを年齢階級別にみると、30 歳代以下では「希望する」は 20%台となっているが、40 歳代及び 50 歳代は 10%台、60 歳代以上では 10%未満となっている。

インターネット調査を希望するか - 年齢階級別

	総数	希望する	希望しない
総数	6,940人	12.3%	78.2%
20歳未満	35	20.0	80.0
20歳代	405	28.1	68.1
30歳代	939	24.8	70.9
40歳代	1,109	18.9	76.7
50歳代	1,568	11.0	83.1
60歳代	1,411	5.7	85.5
70歳以上	1,233	2.0	84.4

地域特性別の状況

オートロックマンション地域、単身者の多い地域、共同住宅の多い地域などにおいて、「インターネットを利用して回答したいと思わない」の割合が50%を下回り、他の地域に比べ、「インターネットを利用して回答したい」の割合が高くなっている。

表7 「インターネットを利用して回答する方法について、どのように思いますか」
について - 地域特性別 - (%)

	総数 (実数)	インターネットを 利用して回答し たい	インターネットを 利用して回 答したいと は思わない	どちらとも いえない	不詳
一戸建の多い地域	3,085	6.4	56.6	27.2	9.9
共同住宅の多い地域	2,400	10.6	48.4	33.3	7.7
建物1棟でいくつかの調 査区を構成しているオー トロックマンション	1,855	16.1	45.7	33.6	4.6
ワンルームマンションな ど単身者が居住する住宅 の多い地域	835	15.4	43.0	35.9	5.6
外国人の多い地域	842	8.9	51.4	30.8	8.9

6 結果の分析

郵送による調査票の提出方法については、あらゆる属性で「調査員に手渡さなくてもよいので、提出しやすい」という意見が大勢であることから、世帯の協力を得て、平成22年国勢調査を円滑に実施するためには、郵送による調査票の提出は有効な方法と考えられる。

インターネットによる回答については、ほぼ半数の者が「インターネットを利用して回答したいとは思わない」との意見である。しかし、40歳代以下の世帯では、「インターネットを利用して回答したい」という意見も比較的多い。特に、20歳代の世帯は、「インターネットを利用して回答したい」という意見が「インターネットを利用して回答したいとは思わない」という意見を上回っている。このように、これまで調査上困難が見込まれると言われてきた20歳代の世帯を中心に、インターネットによる調査方法は有効である可能性がある。

本世帯アンケートの集計結果は、原則郵送回収の方法により実施した第1次試験調査の対象世帯から得られた意見であることに留意する必要がある。